

はじめに

鳥取県では、県内の企業・事業所が子育て支援やワーク・ライフ・バランスの推進のためにどのような取組を進めているのかを把握するため、ダイバーシティ・コンサルタントである、渥美 由喜(あつみ なおき)氏発案の企業子宝率という指標を用いて調査しました。

調査の結果、企業子宝率の数値が高く、子育て支援に率先して取り組んでいる企業7社を表彰し、その取組を参考として紹介します。今後の企業経営に繋がる取組や職場風土づくりの一助となれば幸いです。



目次

P2… **子育てしやすい職場環境づくりの取組事例**
平成30年度鳥取県企業子宝率調査に係る知事表彰企業の取組事例

P3… **大山乳業農業協同組合** P3… **有限会社國本建設**
P4… **有限会社共栄部品** P4… **株式会社ヒノコンサルタント**
P5… **株式会社大丸水機**
P5… **社会福祉法人青谷福祉会 特別養護老人ホームなりすな**
P6… **日本基督教団倉吉教会附属 めぐみ保育園**

鳥取県「企業子宝率」調査概要

1. 調査内容

(1) 企業子宝率調査

男女問わず企業の従業員(15~59歳)が、当該企業在職中にもつことが見込まれる子どもの数を推計するための調査を実施

(2) 子育てしやすい職場環境づくりの取組状況調査

育児休暇・育児休業を取りやすい取組、職場復帰への取組、会社独自の子育て支援の取組などのアンケート調査を実施

2. 調査対象

県内に本社がある常用雇用者10人以上の事業所

3. 回答数

362事業所

4. 調査方法

郵送による回答

5. 調査期間

平成30年8月1日(水)~8月31日(金)

※企業子宝率調査方式に関する一切の知的財産権は、この調査方式の発案者である渥美由喜氏に帰属します。発案者の事前承諾なく、複製・転載・流用・転売・複写等はできません。

「企業子宝率」調査結果

平成30年度
**企業子宝率全体の
 最高値・平均値**

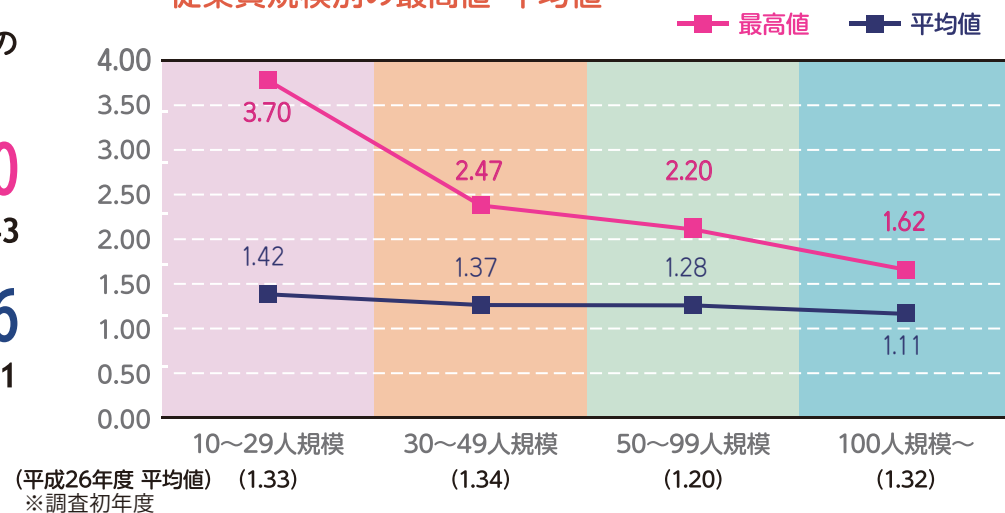
最高値 3.70

平成26年度 最高値 2.43

平均値 1.36

平成26年度 平均値 1.31

従業員規模別の最高値・平均値



子育てしやすい職場環境づくりの取組事例

アンケートの回答の中から、企業が行っている子育てしやすい職場環境づくりの取組について、その一例を紹介します。

1 定時退社・休暇取得をしやすい職場環境や雰囲気づくりの主な取組

職員の相互協力により、全員で協力していく体制づくり

従業員の相互協力により一人一人がスキルアップし、全員で協力していく体制を整える。

イクボス宣言により、子育て・家庭支援を積極的に支援

業務は就業時間内に終わらせるのが理想。日頃より業務の効率化を図って時間内に終わる様に心掛けている。

ノー残業デーや、プレミアムフライデーの実施

ノー残業デーや、プレミアムフライデーを実施し、定時退社をしやすい環境づくりに取り組んでいる。

ポイント

上司が率先して早く帰る、定時退社・休暇取得が出来るよう職員全員で協力していく体制づくり

2 育児休業を取得した従業員が職場復帰をしやすいとする主な取組

育児休業中の職員へ社内情報を送付

福利厚生に係る冊子送付の際には、社内情報も合わせて送付し、職場復帰後も安心して業務に取り組めるようにしている。

育児休業中も交流し終了前に、復帰後の仕事内容について協議

育児休業中も交流をはかり、育休復帰支援プランを作成し、プランに基づく措置を実施している。

短時間勤務制度の活用や就業時間を本人の都合に合わせて変更

復帰後は短時間勤務を活用したり、本人の要望を聞き都合に合わせて柔軟に対応している。

ポイント

育休復帰支援プランの作成や社内情報の発信など、社員が安心して職場復帰できるよう支援

3 子育て中の社員に配慮した独自の主な取組

育児のための時間外労働の制限の規程や短時間勤務

3歳に達するまでの所定外労働の免除や、小学校就学までの時間外労働の縮減など、独自に取り組んでいる。

就業規則に「育児のための時差出勤制度」を設ける

時差出勤により、保育園の通園時間に合わせることができ、子育ても仕事もしやすくなる。

国の基準以上の規定を早い段階から確立

働きやすさを考え、子の看護休暇取得範囲、就業時間帯の柔軟化など国の基準以上の規定を先行して行っている。

ポイント

職員の声に耳を傾け、働き続けることができる職場環境を作っていけるよう柔軟に対応する